

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

1095

介護保険料徴収事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	4	社会保障制度の充実
取組方針	2	介護保険制度の適正な運営

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	介護保険事業特別会計		
	款	総務費		
	項	総務管理費		
	目	一般管理費		
	大事業	一般管理事業		
中事業	介護保険料徴収事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	介護保険課	小林 優子 435-1190
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	介護保険料収納・還付を行い、未納者に対しては文書催告の他、電話・訪問催告を行う等して、収納率向上を図るため。		介護保険料の収納・還付を適正に行う。また、未納者に対して徴収を強化し、収納率向上を目指すための事業			
事業内容		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
		督促状・催告書の発送、電話催告、徴収員による臨戸徴収等。	督促状・催告書の発送、電話催告、徴収員による臨戸徴収等。	督促状・催告書の発送、電話催告、徴収員による臨戸徴収等。	督促状・催告書の発送、電話催告、徴収員による臨戸徴収等。	督促状・催告書の発送、電話催告、徴収員による臨戸徴収等。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	16,523	20,887	17,699	16,519	18,207	16,279	18,775	0	18,775	0	
伸び率(%)	△0.4%	42.6%	7.1%	△20.9%	2.9%	△1.5%	3.1%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	26,832	25,957	27,615	26,685	25,579	24,831	24,756	0	24,756	
	正規職員以外	6,588	5,653	5,695	5,645	5,758	5,939	6,174	0	6,174	
	小計	33,420	31,610	33,310	32,330	31,337	30,770	30,930	0	30,930	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	490	681	490	609	490	547	290	0	290	0	
一般財源(税等)	16,033	20,206	17,209	15,910	17,717	15,732	18,485	0	18,485	0	
所要人数 (人)	正規職員	3.37	3.26	3.56	3.44	3.42	3.32	3.31	0.00	3.31	0.00
	正規職員以外	3.11	2.68	2.54	2.53	2.62	2.71	2.83	0.00	2.83	0.00
主な予算内訳	通信運搬費 13,423千円 印刷製本費 2,280千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)
現年分保険料収納率		%	98.85	98.90	98.90	98.95	98.95	
			99.07	99.16	99.24			
			100.2%	100.3%	100.3%	%	%	
滞納分保険料収納率		%	22.30	23.0	23.0	23.0	23.0	
			24.30	22.60	21.39			
			109.0%	98.26%	93.0%	%	%	
成果指標	現年分保険料収納率	%	98.85	98.90	98.90	98.95	98.95	
			99.07	99.16	99.24			
			100.2%	100.3%	100.3%	%	%	
滞納分保険料収納率		%	22.30	23.0	23.0	23.0	23.0	
			24.30	22.60	21.39			
			109.0%	98.26%	93.0%	%	%	

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	現年度分については、目標値をおおむね達成している。滞納分については、債権回収対策課への移管等、徴収体制の強化を図っている。
見直し・改善内容	特になし。